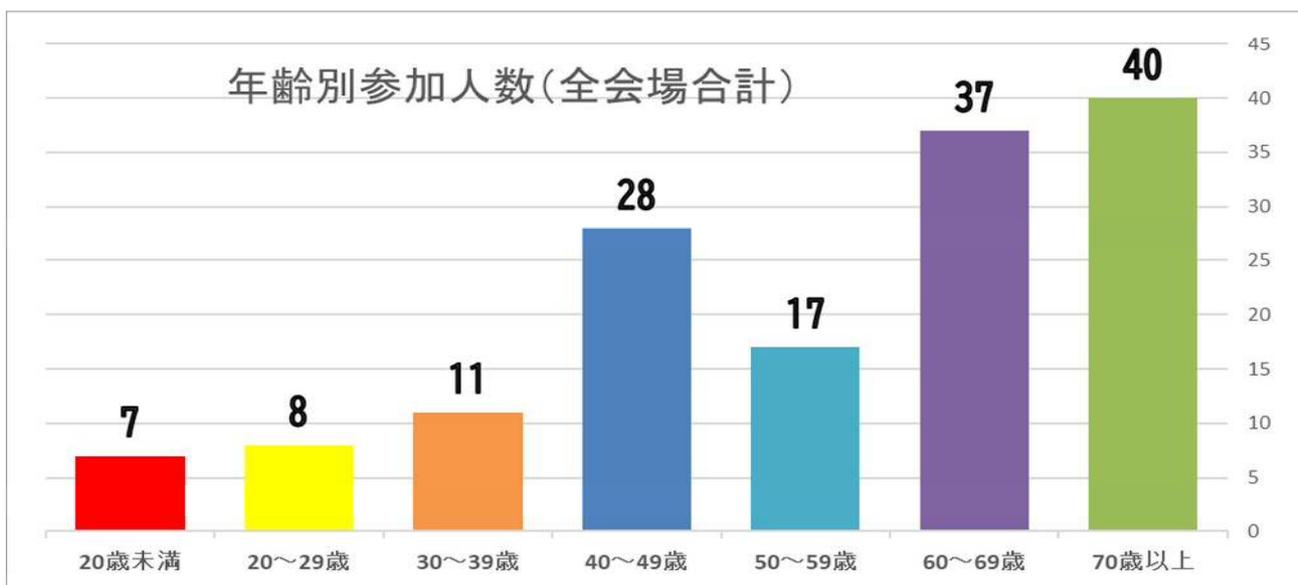


「これからの公共施設と学校施設の意見交換会」 当日意見及び参加者アンケート 結果報告

開催日時	令和6年10月15日、10月25日、11月15日、11月20日、12月20日
参加者数実績	福田地区30人、豊岡地区37人、磐田地区44人、竜洋地区28人、豊田地区30人



1. 意見交換会の様子



2. 意見交換会(要旨)

・福田地区 令和6年10月15日(火) 福田支所

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
ながふじ学府の小中一体校の成果、手ごたえは。	小中学校全員で音楽祭を行うなど、報告を受けています。不登校が減っているところは成果と感じています。(教育長)
福田地区東橋は、補修をする前の点検を実施したが、道路や防災の今後の施策をどう考えていますか。	市だけでやることではないため、どんな形でやるかということ、今考えています。少し時間がかかると思っていますが、この場でご意見をいただければありがたいです。(市長)
福田中学校が海岸沿いのため、通学に不安がある。福田中学校の構想を教えて欲しい。	はまぼう学府の着手については、地元から要望をいただいています。対話を繰り返しながら進めていきたいです。(教育長) 無理に再編は考えていません。みなさんとの合意形成を大切にしていきます。(市長)
福田の人口はどんどん減ってしまうという事実があるので、市としてそこをリードするような形で、年次計画を立てて学府の再編を実施できないでしょうか。	強行にやると反対派が出てきたときに上手くいかないことも考えられます。このような話を皆様と共有できたことは、大きな一歩だと思っています。本日の話しを受けて次のステップに、進むか進まないかも地域の皆様と合意しながら決めていきます。(市長)
使えなくなった公共施設の利活用について、具体的に進んでないのかなという印象だった。今後、利活用の話を中心とした意見交換会は、検討していますか。	公共で何が必要なのか、教育施設で何が足りていないのか、どういう施設が必要なのかということ踏まえ、跡地や建物についての利活用も考えて、地域の皆様と対話をしていきます。(市長)

・豊岡地区 令和6年10月25日(金) 豊岡中央交流センター

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>旧校舎とか施設の利用について、例えば、他の事例では、グランピング施設や体験学習の施設をつくり、子供たちのコミュニケーションを育もうという活動があると聞いたが、市にそのような考えはないでしょうか。</p>	<p>空いた学校施設はよりよく有効活用したいと思っています。可能ならば子供たちの施設にしていきたいなという思いを持っています。（市長）</p>
<p>人口減少の中、人の集まるまちを市長がつくろうと、磐田出身の方の応援や企業誘致など、地域を盛り上げようとしています、手ごたえはどうでしょうか。</p>	<p>「磐田市頑張ってるね」という御評価をいただきます。磐田の子供たちがまた戻っていきたくてもらえる環境に、皆様としていくというのが私の目標です。（市長）</p>
<p>学校教育について閉鎖された空間で、関わりにくいと感じるが、垣根がなくなるような改善の考え方があるのかお聞きしたい。</p>	<p>地域の方々に多く学校に入っていただくとともに、子供たちの教育に携わっていただき、一緒に教育に関わっているというような雰囲気醸成したいと思っています。（教育長）</p>
<p>豊岡南小学校のトイレを使うことが多いが、校舎がかなり古いと感じます。耐震対策をやったとしても大丈夫なのかなという感覚を持っています。</p>	<p>トイレは洋式化がなかなか進んでいないと思っています。校舎は、防水シートなどの長寿命化改修を行い、トイレの洋式化とあわせて整備を進めています。（教育長）</p>
<p>複合化すると、通学距離が大変ですし、指定避難所や緊急避難場所になっている施設が減ったり、遠くなるなど、不安が大きくなります。</p>	<p>通学の不安は大きいと思っています。通学バスを走らせる際には、子供たちの安全の確保を1番のところで話を進めています。 防災拠点については、例えば、豊田、ながふじ地区は、2階の体育館を地域の皆様方の防災拠点にしました。地域の皆さんの対話協議の中で、ある程度の方向性を定めたいと考えています。（教育長）</p>
<p>体育館も含めて、学校の冷暖房設備がありません。冷暖房設備を考えていったほうが良いと思います。</p>	<p>昨年度今年度と暑い日が続いて、子供たちの体育の実施がままならないと感じました。現在、普通教室や特別教室など、整備を順次広げており、体育館も整備を検討しています。（教育長）</p>

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>旧市民文化会館跡地に新たな建物を検討される際には、社会教育施設を望みます。また、検討スケジュールを示していただきたい。</p>	<p>現在、旧文化会館跡地にどんな施設を建設するかは全く決まっていません。11月11日から月末までの期間で跡地活用の提案募集が始まったため、民間企業からの提案を受けて、庁内的にも組織を立ち上げながら今後検討していきます。（市長）</p>
<p>小中一体校の構想で、C型で検討することはありますか。 その際は地域の要望があれば考慮されるのでしょうか。</p>	<p>学府内の学校をすべて集約する方針ではなく、3つの方針について各学府ごとに適切な学校づくりをしていくために、今後、地域の皆様と協議していきたいと思っています。（教育長）</p>
<p>老朽化した校舎についての安全性の確認はどのように行うのでしょうか？また、南部中学校について非常階段にコンクリートの塊が落ちていたが、現状の安全確認を行っていただくとともに、どんな基準で安全確認を行っているのか伺いたい。</p>	<p>耐震基準については問題ありません。日常的な安全点検は学校づくり整備課にて行っており、2年に1回は事業者が入り定期点検を行う体制をとっています。ご意見あったようなことはあってはならないと感じていますので、事実確認をし、早急に対応します。（教育長）</p>
<p>人口や児童が減ることを前提に話をされていたが、子供を産む人たちをどのようにして増やすのか、どうやって生んだ子供を育ててもらうのかを考えることが先決だと思います。育った子供たちが磐田市に戻ってくるための構想があれば示してほしい。</p>	<p>この地域でどんな働き方ができ、どんなライフプランができるのかということを授業の中で子供たちに伝えることで地域の魅力を発信していきたいと思えます。また、高校生を対象としたまちづくり研究所事業などを実施し、市内に5校ある高等学校へ通学している市外の学生に対しても磐田市の魅力を伝えていきたいと思えます。（市長）</p>
<p>築50年の校舎で、トイレを改修するだけで他は問題ないのか疑問に思います。</p>	<p>トイレを単に洋式にするだけでなく、水を使用せずに清潔に保てるよう乾式化にすることや、屋上の防水シートを施工するなど、長く使用できる校舎になるように改修しています。（教育長）</p>
<p>中学校までは義務教育で地元に残ることが多いが、高校や大学に進学し義務教育から外れることで市外、県外へ出てしまった子供達が、市内へ戻るための施策はありますか。</p>	<p>中学生までに磐田市の良さや働き方を伝えていくとともに、産業振興フェアなどへ参加していただけるよう引き続き案内をしていきます。またUIJターンなどのメニューもあるので、しっかり伝えていきます。（市長）</p>

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
<p>新たな小中学校の建設の際に、まとめて設計業務委託発注をするなどして、コスト削減を図ってもらいたい。</p>	<p>建替えについてはまだ何も決まっていない状態であるため、地域の皆様からいただいた意見を基に、考えていかなければと感じています。(市長)</p>
<p>集成材などを利用して、新たな技術導入を図ってもらいたい。</p>	<p>建替えるのであれば、新しい技術について検討しますので、実用性やコストを検証し導入を検討していきます。特に集成材に関しては市内に工場があり、最近では国産材がほとんど使われていないという課題もありますが、木材をどのように使用するか検討していきたいと感じています。(市長)</p>
<p>高齢者とうまく協力する形で、放課後児童クラブの充実を図っていただきたい。</p>	<p>放課後児童クラブのニーズは高くなってきているため、複合施設とすべきかどうかも含めて、地域と協議をしていきます。(教育長)</p>
<p>ながふじ学府と向陽学府が実現するに至ったきっかけがあれば参考に教えていただきたい。</p>	<p>地域の皆様と行政との合意形成がきっかけとなっています。(教育長) どちらの地域も要望書が出ており、併せて校舎が老朽化していることや、クラス替えができないぐらい児童数が少なくなってきている等の要因が地域の皆様を動かすきっかけになっていると思います。(市長)</p>
<p>収益が出たら市へ寄付をしたいという思いの企業は多くいると思うため、分かりやすく寄付金を募っていただきたい。</p>	<p>今までは防潮堤建設に力を入れていたため、いただいた寄付はそちらに使わせていただきました。これからは学校建設も意識して寄付を募っていきます。(市長)</p>
<p>竜洋地区では、地域で交流会を定期的に開催しており、コーディネーターも有志で行っているため、現場の方々はもっと積極的な姿勢で取り組んでいただきたい。</p>	<p>コーディネーターの方々には子どもたちの学びの選択肢が広がっていることに感謝しています。いただいたご意見を大事にしながら取り組みたいと思います。(教育長)</p>
<p>竜洋地区に幼少期から老年世代まで、一貫して通える学園都市の建設を望みます。</p>	<p>竜洋地区の構想についてはまだ何も決まっていないため、地域の中での共有事項を市へ提案いただきたいと思います。(市長)</p>
<p>耐用年数がきたら、すぐに解体するのか、管理基準があれば教えていただきたい。</p>	<p>明確な基準はなく、使えるのであれば使っていきます。学校全体の耐用年数のバランスを見ながら建設を進めていくため、耐用年数＝解体ということではなく、見通しを持って進めていきます。(市長)</p>

市民の発言内容	市長・教育長の発言内容
ながふじ学府一体校が完成して、現在までの総括をお聞かせいただきたい。	開校時は、新型コロナウイルスの影響で、人と人とが繋がる教育ができなかったが、現在は中学生を見て小学生が育つ、また、中学生は小学生のお手本にならないといけないといった意識が児童たちのアンケート結果から出ています。(教育長)
今後の意見交換会は、自治会単位で行いますか。	地域の方々の声が伝わりやすく、より参加しやすい形を目指して、今後も開催を予定しています。(市長)
今、地域に根付いているコミュニティをどのように活かして進めるのか教えていただきたい。	地域コミュニティの維持について、明確な方法は決まっています。コミュニティの中で必要な機能はどんなものなのかという議論も含めて、地域の皆様と対話をしながら進めていきたいと思えます。(市長)
ながふじ学府一体校において、屋上へのプール設置は成功と言えるのでしょうか。	学校から問題があるとは聞いていないことと、下が駐車場として有効活用できていることから十分な効果は得られています。(教育長)
磐田の明るい未来の実現のために、公共施設の中でも特に子どもたちが使う学校施設の事業に力を入れて取り組むべきだと思いますがいかがでしょうか。	今は、学校のエアコン設備改修、トイレ改修等を積極的に行っており、教育施設を充足させる方向性は示しています。(教育長)
他自治体をみると学校施設にスポーツフォーラムを統合している事例があったが、市としての取り組みはいかがでしょうか。	実績としては、ながふじ学府一体校に公共図書館を統合しています。体育施設に限らず視察を行い、様々な要素を取り入れられるように検討します。(市長)
東名高速道路より北側の市街化調整区域における、まちづくり構想について、優良田園住宅制度の進捗とあわせて伺いたい。	市内全域で人口減少となる見込みから宅地開発は困難であると感じていますが、引き続き優良田園住宅制度を周知するとともに、農業や産業という視点でどんなまちづくりができるか検証していきます。(市長)
将来的な人口減少を考えると、学区の再編の可能性はありますか。	ながふじ地区は過去に学区が再編された実績もあります。祭典や防災についても影響があるため、行政と地域で合意形成が取れば可能と考えています。(教育長)
富士見小学校は、児童数が多い学年の救済用にプレハブ校舎としているが、本設としてもらえるのでしょうか。	最重要課題と認識しています。(教育長)
統廃合により学校が遠くなると、通学に危険性が発生します。それについての対策はどのように考えていますか。	昨今の猛暑も懸念しているところで、原則スクールバスで対応するつもりです。(教育長)

3. 参加者アンケート結果

目的	今後の意見交換会等の開催に向けて参考とする
対象	意見交換会参加者
調査方法	意見交換会にてWEBアンケート用紙を配布し後日実施
参加者数	169名／申込者数 192名
回収数	79名／回収率 46.7%

問1 意見交換会を何で知りましたか？

回答者数 79人

項目	回答数	構成比
チラシ	21 人	26.6%
自治会連合会などからの連絡	12 人	15.2%
広報	11 人	13.9%
ダイレクトメール(市や学校からのお知らせ)	11 人	13.9%
SNS(インスタグラムやフェイスブック)	8 人	10.1%
ホームページ	4 人	5.1%
その他	12 人	15.2%
合計	79 人	100.0%

問2 「公共施設と学校施設の現状と今後について」の内容に関する知識や理解が深まりましたか？

回答者数 79人

項目	回答数	構成比
十分深まった	13 人	16.5%
概ね深まった	57 人	72.2%
変わらない	4 人	5.1%
あまり深まらなかった	3 人	3.8%
まったく深まらなかった	2 人	2.5%
合計	79 人	100.0%

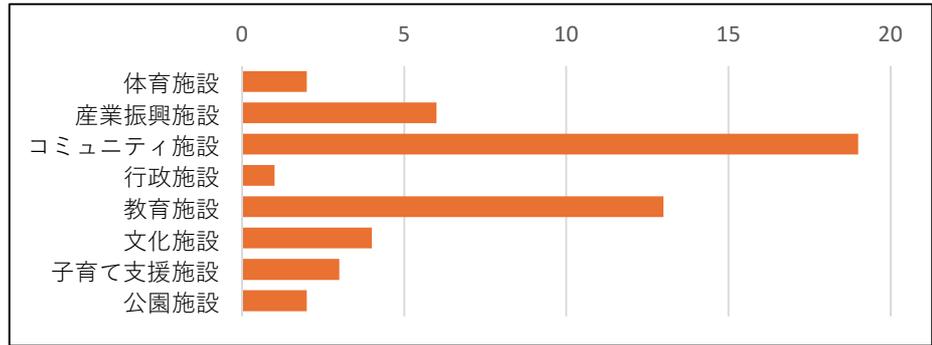
問3 説明から意見交換会までの受講時間(約1時間)はどうでしたか？

回答者数 79人

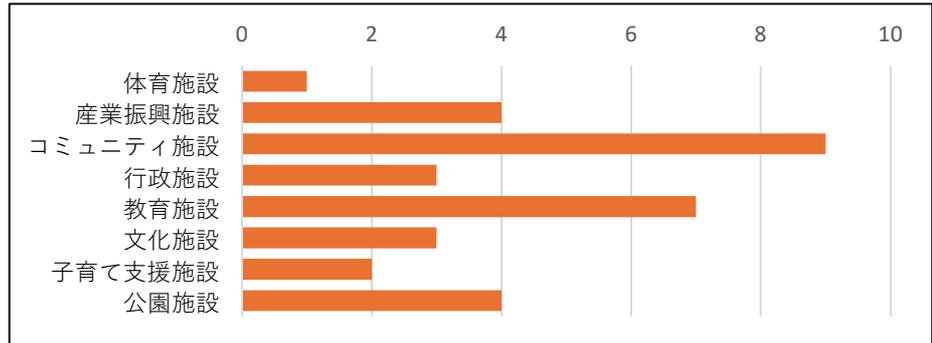
項目	回答数	構成比
短かった	33 人	41.8%
やや短かった	27 人	34.2%
ちょうど良い時間だった	19 人	24.1%
やや長かった	0 人	0.0%
長かった	0 人	0.0%
合計	79 人	100.0%

問4 20年後、この地域に「必要」だと思ふ施設を2つまでお選びください。

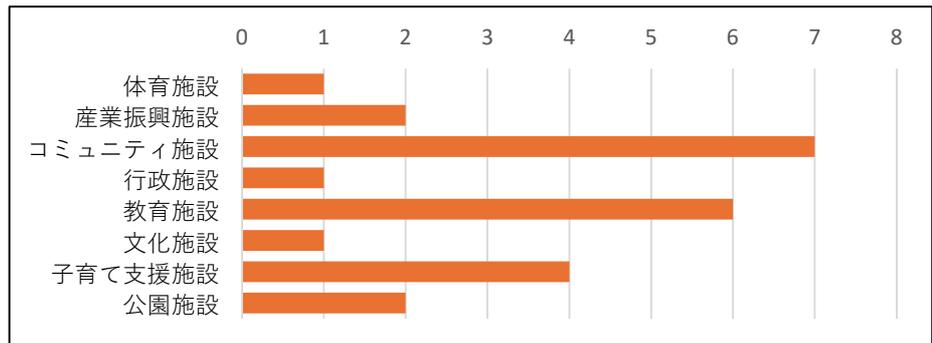
磐田地区



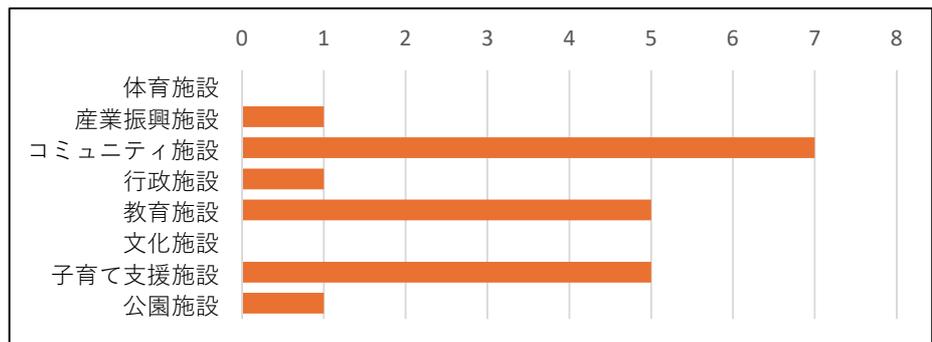
福田地区



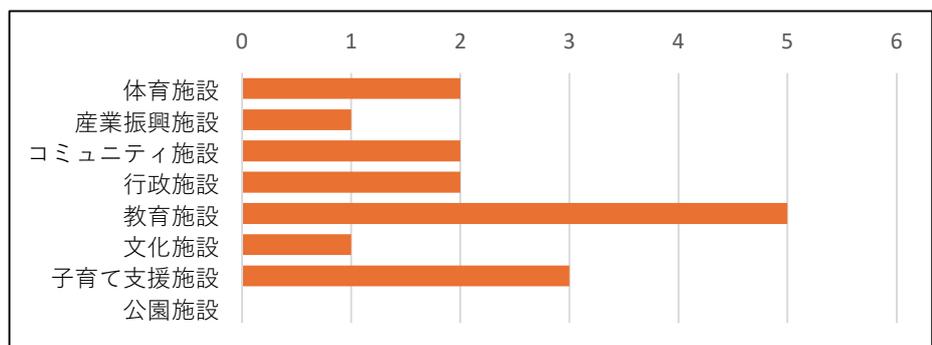
竜洋地区



豊田地区

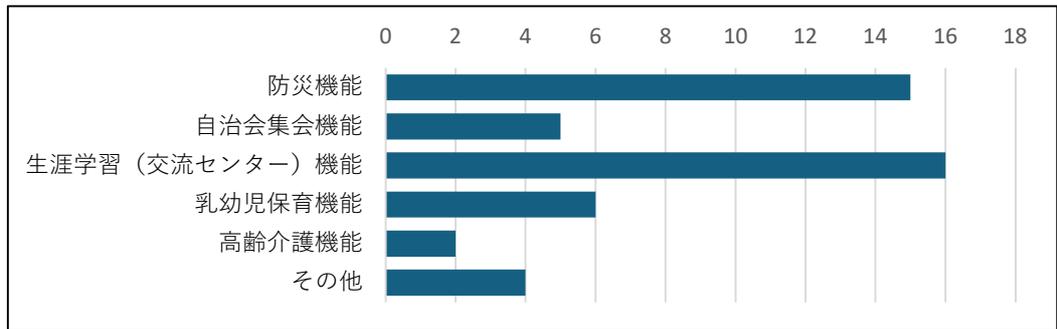


豊岡地区

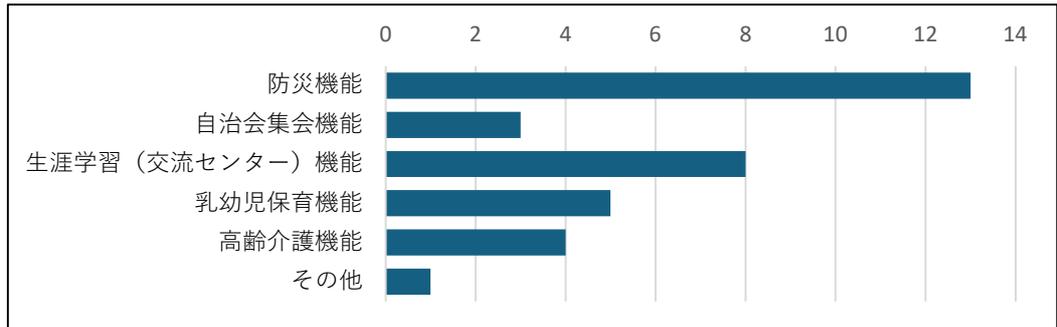


問5 地域として学校敷地にあると良い機能を2つまでお選びください。

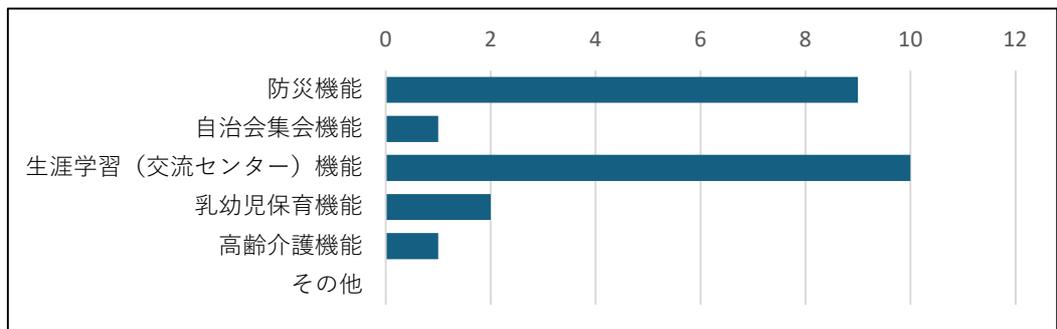
磐田地区



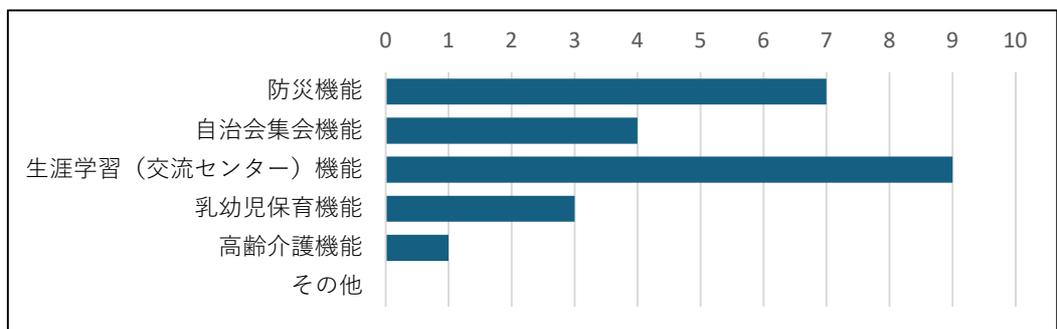
福田地区



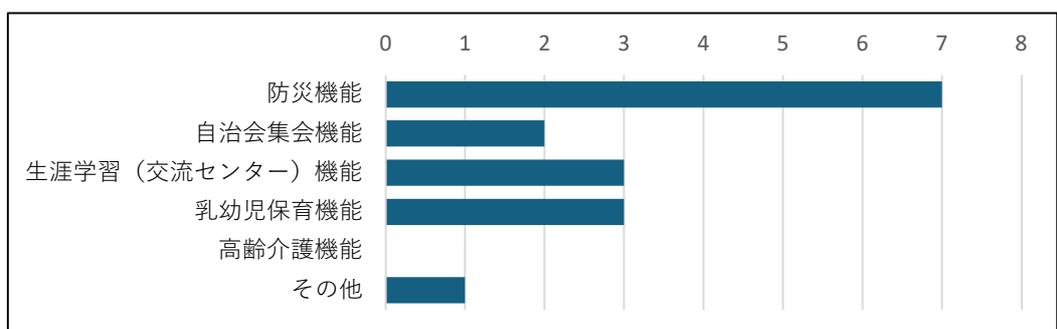
竜洋地区



豊田地区



豊岡地区



問6 人口減少や税収の減少が予想される中、今後の磐田市の公共施設は「複合化」や「集約化」を進める必要があります。このことについて皆様の意見を自由にお答えください。(自由記述)

意見一覧 (要約)

- 集約化はやむを得ないが、高齢者の居場所が欲しい。
- 公共施設の複合化は避けられないが、地域文化の維持や災害時の対応、高齢者の利便性、通学問題など、多くの課題がある。これらを解決するには、市民との対話を重視し、磐田市の将来像を明確にしながら、持続可能で暮らしやすい街づくりを全員で考える必要がある。
- 公共施設の「複合化」や「集約化」を進める上で、地方自治法及び教育基本法を遵守し、今後も一人でも多くの一般住民の意見や要望を聞く機会を持ち、進めていくことを要望する。
- 複合化や集約化には多くの利点がある。しかし、多様なニーズに対応し、柔軟で調和のとれた施設を考えていく必要がある。
- 複合化・集約化で、今より良くできるものを模索し、夢のある未来にしていきたい。
- 複合化・集約化は必要である。身近な施設が無くなる不安もあるため、現状説明は大切である。
- 複合化・集約化はやむを得ない。移手段の充実が必要である。
- 複合化・集約化は推進すべきである。メリットが多い反面、事故防止などの課題がある。
- 各小学校の老朽化に伴い、学府の検討をおこなっていることは素晴らしいことである。
- 学校の統合はやむを得ない面もある。交流センターは地域の重要な拠点として残すべきである。防災面でも必要であり、行政サービスを増やせば、その価値はさらに高まる。
- 「複合化」や「集約化」について、今回、市の方針や考え方を初めて聞く。
- 課題山積である。具現化は待ったなし。一つ一つ進めるべきである。
- 施設の複合化や集約化は、コスト削減だけでなく、人々の交流を促進する可能性がある。現状の「地域」の中心である学校や自治会は、開かれているはずなのに実際は参加しづらい。学校内に図書館のような誰でも利用できる施設があれば、地域との繋がりが生まれやすくなる。
- 複合化・集約化は確かに良い面も多い。小さくても地域にある方が使い勝手も良く、地域の活力にもなる。
- 小中一貫校として集約するとともに防災機能強化が必要である。福田地区は教育ゾーンとし、地域ぐるみの子育て支援拠点としたい。
- 複合化・集約化、どちらも重要である。子育て世帯にとっては待ったなしである。安心して暮らせるまちづくりを検討したい。
- 人口推計予測が外れた場合にも対応できる、また将来的に他の用途に利用できるフレキシブルな建物構造を希望する。
- 複合化のメリットはあると思う。現状を含めてしっかりと地域住民同士が話し合いする必要がある。

問7 その他、ご意見やご要望がありましたら以下に御記入ください。(自由記述)

意見一覧 (要約)

- 公共施設以外にも、税収減少に対応できる工夫がある。身近な無駄を見直し、市民と行政が協力して改善することが重要である。
- このようなイベントはいい取り組みである。継続を。中学生の参加は素晴らしい。
- 1時間では短いため、1時間30分～2時間は必要だと感じた。資料は紙で必要だと感じた。
- 豊田地区以外の質問が多く感じたため、該当地区の質問を優先的に意見交換したかった。
- 体育施設は種目ごとの集約を図り、中学生部活動の地域移行ができる施設の存続が必要である。
- 本日の意見交流会のような企画は大変大切である。今後も実施を。次回は、より多くの時間を取り、参加者の意見を広く聞き取るべきと感じた。
- 東名よりも北側の市街化調整区域に対して市の期待することは何でしょうか。
- 中学校区10学府のスケジュールなど、具体的案を市民に明示すべきである。
- 磐田市の総合基本計画を市民に分かりやすく説明するとともに、共有しやすいコンパクトシティになることを期待する。
- ながふじ学府一体校の子どもたちと保護者の皆さんはどんな反応を示しているのでしょうか。生の声を聞きたいです。
- 様々なジャンルの人たちが意見交換できるようになるのは素晴らしい。メディアへの積極的な発信をお願いしたい。
- 誰でも勉強をできるようなスタディスペース、ワークスペースの市内増設を希望する。
- 在学生からのエアコン設置要望があった。切なる願いを届けに来たのだから、その思いに応えるべき。
- 公共施設の現状を数字でわかりやすく解説していただき感謝している。これらを参考にして市民活動団体として活用し、さらに新たな活用方法も検討していきたい。
- 市民文化会館の跡地について、ハコモノありきではなく、使用用途が限定されず、来訪者自身が自由に時間を過ごせる場所、人が集まる場所になることを検討要望。磐田らしいユニークな取り組み、成果物を期待する。
- 多くの市民の参加がある中で、会の内容に以下の改善が必要。事前資料配布と説明時間の短縮、意見交換の時間確保と参加者全員の発言機会、市長の決意表明の明確化。今後の公共施設や学校施設の施策に大きな期待する。
- 若者から年配者まで集まったいい機会に参加できたことに感謝している。
- 市長の「将来のまちをのあり方を見すえた公共施設等の最適化」を是非強く進めていただきたい。
- 中学生が参加していて素晴らしい。このようなイベントの継続をしていただきたい。
- 今回の意見会の結果には残念ながら満足できなかった。不明確な回答や地区ごとに異なる資料内容に不満が残った。このままでは地域間の不公平感が生じる可能性がある。
- 今回を始まりとして、小さな対話の場を作ってもらいたい。

アンケートでご質問をいただきました事項についての回答

質問内容	回答
長野県も含めた天竜川地域の自治体での情報共有や連携がなされているか知りたい。	長野県は上流流域治水協議会、磐田市等の静岡県西部は下流流域治水協議会に所属しており、天竜川における河川情報については各々の流域治水協議会において連携しています。
ハイレベルのスポーツ観戦を楽しみ、集客を期待するのであれば、立派な施設を交通の便の良いところに作るようになるのでしょうか。	磐田市にどんな施設が必要かを踏まえて、スポーツ施設の再編に関する検討を今年度から進めています。
ながふじ学府は、小中一貫校でも豊田東小は別敷地で、中学校から一緒になる形だが、このような形態での一貫校のメリット、デメリットはどのようなものが出ているのでしょうか。	ながふじ学府の中で、児童生徒や教職員同士の交流活動が増えたことが大きなメリットです。また、豊田東小との連携をより進めていくことが課題だと考えています。
ながふじ学府には、一般市民も利用できる図書館がありますが、一般市民の利用者数は年間どれだけあるのでしょうか。また、設計・建設当時は、市民利用における防犯に対する不安の声を聞いたことがあります。当時、このような不安に対してどのように説明をしたのか、対策はどうしているのか教えてください。	ながふじ図書館の一般市民利用者数(本貸出人数)は、令和5年度1,167人です。 死角になりやすいプール下の駐車場部分、校舎南側に防犯カメラを設置し、職員室には録画機能もあるモニターを設置することを説明しました。現在は設置済みです。
東名よりも北側の市街化調整区域に対して市の期待することは何でしょうか。	農業や産業という視点で、どんなまちづくりができるか検証するとともに、農商工が連携した拠点機能の充実を図れることを期待しています。
ながふじ学府一体校の子どもたちと保護者の皆さんはどんな反応を示しているのでしょうか。	学校が新しくなり、磐田市で初めての一体校に通学する喜びの声があります。また、小学生と中学生が交流する楽しさを感じているようです。
このような会への参加は初めてだったが、市長からすぐに回答をいただけることはすごく良いと思いました。 学校の現場はコミュニティスクールでのCSD、CSCのことをどのように感じているのでしょうか。	CSD、CSCの方々は、学校が地域・保護者の方々と協働して教育活動を実施する際に、重要な役割を果たしていると考えています。CSD、CSCの方々がいももって活動する環境づくりに学校と共に取り組みます。
当日、南部中学の非常階段の劣化(天井のコンクリートの落下)について、質問しました。その後の確認結果や、対応結果をお知らせください。	直ちに現地確認を行い、爆裂部の補修を手配しました。
リーダーシップを取る側として市長や教育長は磐田市の未来、子供たちの教育をどうしたいのでしょうか？ぜひお聞かせ頂きたいです。	「生きる力」の育成を基本とし、子供たちが自ら学び、自ら考える教育の推進を目指します。

質問内容	回答
<p>多くの地区の学校施設が避難所となっていると思いますが、統合され、閉校となった場合の避難所は、どうなるのでしょうか。</p>	<p>避難所については、代替地を避難所とすることを原則としていますが、公共施設の統廃合により、避難所の統合や変更について施設の安全性や想定避難者数等から検討します。</p>
<p>何十年後にはこうなることは理解できるが、この先に何の施策を打っていくのがわからない、みえない。具体的な将来ビジョンを示せないだろうか。</p>	<p>今後、公共施設の集約化、複合化が必要となります。そのきっかけとして今回の意見交換会を開催しました。今後も市民の皆様との対話を繰り返し、まずは具体的な方針を検討していきます。</p>
<p>小中でも、高校のように担任、副担任制度の導入はできませんか。</p>	<p>副担任を配置し、学級担任と効果的に連携することによって、よりきめ細やかな指導の実現が期待されますが、教員を配置する定数の改善が必要になります。</p>